

きょうも元気に!

日本共産党 京都市議員

《活動報告News》

河合ようこです。

NO. 270

2017年11月26日
日本共産党西地区委員会
311-4704
西京生活相談所
392-3546
ホームページ
http://kawai-yoko.jp/



市民のくらしと宿泊者の安全の確保を
日本共産党議員団が提案。市に申し入れ
住宅宿泊事業法制定に伴い
京都市は2月市会に市の条例
を提案
する方
向です。
11月4
日に条
例制定
の骨子
案を示
し、12月
に市民
意見を募集する予定です。
党議員団は11月21日、市民
のくらしと宿泊者の安全を確
保する「民泊」条例の制定をめぐり
日本共産党京都市会議員団の
提案を発表しました。市の骨
子案では、違法民泊などを規
制するには極めて不十分であ
ることを指摘し、市民生活を
守る立場で厳しい規制条例を
作ることを党議員団は提案し
ています。(上の写真は、産業観光局に
申し入れを行っている様子です)

敬老乗車証を守ろう。連絡会
3万5千筆超の署名提出
「敬老乗車証を守
ろう。連絡会」は、
11月16日、現行制度
を堅持し充実することを求め
る署名1809筆を新たに京都市に
提出(第11次)。署名は合計3万5066
筆になりました。署名提出前
には市役所前で集会を開き、
その後、市役所周辺をパレード
し、心益負担制度にするな、
「高齢者の外出に役立つ、市
民の宝・敬老乗車証を守れ」、
「福祉を充実せよ」とアピール
しました。署名提出後は京都
市と懇談し、「敬老乗車証の現
行制度を守ることを真剣に考
えて」と参加者が思いを語りま
した。



敬老乗車証市民アンケート
市のみとめ、結論に異議あり
京都市が11
月8日に公表
した敬老乗車
証制度の現状
と課題に関す
るアンケートの
結果のまとめ
は、「現行制度を要するべきという
意見が多かった」という主旨の説
明がされました。しかし、アンケ
ー
トは制度の内容や心益負担への
変更の賛否を問う内容でなく、
集計のやり方も市の負担を離
持した方がよい(41%)と「減らした方
がよい(37%)」をまとめて「現状より増
やさない方がよい」が79%と強弁す
るなど極めて意図的です。党
議員団は、この市の姿勢を問題
だと指摘し、市民の願いに応え、
現行の敬老乗車証制度を守り存
続させるべきとの見解を発表し、11月
21日保健福祉局長に申し入れました。



11月29日(水)は本会議
代表質問が行われます。
日本共産党議員団を代表し
北山忠生議員(山科区)、樋口
英明議員(京区)が質問します。
ぜひ、ご視聴下さい。(KBSテレビ
イマタレ)

みなさんの声で前進...
工事が始まりました。
1/21

11/19 はるの里
まわり
12月 桜原町家灯籠
会 のまきさ市

秋は盛りがいっぱい
11月18日西京区民
ふれあいまつり
1/21